

反転モードプリント



1 記録紙の種類が表示されていることを確認します。
 本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

<input checked="" type="checkbox"/> 感熱紙	17M
黒	普通
A 1	自動
標準	01

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入ると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22, 「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

反転モードでの注意

- 反転モードプリント中は、サーマルヘッドの温度が上昇しやすくなります。ST-1 は、サーマルヘッドの温度を検出して、印字動作をコントロールしているため、高温になると印字動作が一時的に停止することがあります。
 （メッセージ表示部には、「サーマルヘッド温度低下待ちにつきしばらくお待ちください」と表示されます。）
- 長尺原稿で反転モードプリントを実施する場合、原稿サイズは A4 を縦方向に 2 枚貼り合わせたサイズより小さくしてください。サーマルヘッドの温度が高温になり過ぎると印字中止になる場合があります。

→ P42, 「長尺原稿からのプリント」を参照。

2 プリントモードを「反転」にします。
 [モード] ボタンを押して、反転モードプリントに設定します。

<input checked="" type="checkbox"/> 感熱紙	17M
黒	普通
A 1	自動
反転	01

反転に設定します。

標準
写真
反転



3 必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。

→ P53, 「拡大サイズの設定」を参照。

→ P54, 「プリント濃度の設定」を参照。

<input checked="" type="checkbox"/> 感熱紙	17M
黒	普通
A 1	自動
反転	01

プリント濃度を設定します。

拡大サイズを設定します。

